

林野庁 プレスリリース

12月6日	「林政審議会」の開催及び一般傍聴について
12月13日	林農林水産大臣の国内出張について
12月25日	「国有林野の管理経営に関する基本計画」の策定について

仙台湾の海岸防災林の復旧状況等を 林農林水産大臣が視察

12月27日、林農林水産大臣は、東日本大震災により被災した仙台市荒浜地区の海岸防災林の復旧状況を視察しました。

海岸防災林には、飛砂や強風を防ぎ、津波の勢いを弱めるなど暮らしを守る役割が期待されています。



黒川東北森林管理局長から海岸防災林の復旧状況の説明を受ける林農林水産大臣

仙台湾沿岸は、平成23年度から民有林と国有林を一体として林野庁(東北森林管理局・仙台森林管理署)が直轄で復旧を行っており、植栽する樹木の根を健全に成長させて津波に対して被害を受けにくい防災林を造るため、災害廃棄物由来の再生資材も活用した盛土や、防風柵の設置等を進めています。また、公募により参加したNPOや企業等の民間団体による植樹活動も実施されています。林大臣は、こうした状況について、東北森林管理局長等から説明を受けました。

このほか林大臣は、宮城県亶理町の浜吉田いちご団地等を視察するとともに、福島県相馬市の相馬双葉漁業協同組合の関係者の方々との意見交換を行いました。



NPOや企業等の民間団体による植樹活動が行われた
仙台市荒浜の国有林(H25.10.13撮影)

間伐材利用紙カップによる飲料自動販売機 農林水産省地下に新登場

12月24日、農林水産省地下1階の自動販売機コーナーに、間伐材を10%混入した紙でできている紙カップを使用する飲料自動販売機が新たに設置されました。

農林水産省における飲料自販機を通じた間伐材利用のPRとしては、7階のカートカン自販機に続く取組となり、これを契機に全国に波及・拡大することが期待されます。

株式会社アベックスが開発したこの紙カップは、平成25年度



農林水産省に設置された
自動販売機

の間伐・間伐材利用コンクールにおいて、間伐推進中央協議会会長賞を受賞しました。

日本の新たな温室効果ガス削減目標3.8%の3/4に当たる2.8%は、年平均52万haの間伐等による国内森林整備を通じた森林吸収で達成することとされています。同社では、この紙カップや自販機の普及を通じて、森林吸収源対策に協力・貢献していきたいと話しています。



間伐材を利用した紙カップ

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。